



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年7月31日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 大証第二部
 コード番号 4923 URL <http://www.cota.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日 配当金支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,019	7.3	66	△10.3	69	3.1	38	△0.1
24年3月期第1四半期	950	1.8	73	—	67	—	38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3 97	—
24年3月期第1四半期	3 98	—

(注) 当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,761	5,233	77.4
24年3月期	7,338	5,355	73.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,233百万円 24年3月期 5,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	18 00	18 00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0 00	—	18 00	18 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,270	5.2	129	△58.5	133	△55.9	75	△57.7	7 86
通 期	5,600	5.4	769	△23.2	739	△25.6	509	△7.2	52 99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2 サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	9,619,500株	24年3月期	9,619,500株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,333株	24年3月期	3,223株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	9,616,173株	24年3月期1Q	9,616,681株

(注) 平成24年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、所有株式数を1株につき1.1株の割合をもって分割いたしました。なお、前事業年度末及び前年同四半期累計期間に係る株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（株式分割について）

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3	四半期財務諸表	5
	(1) 四半期貸借対照表	5
	(2) 四半期損益計算書	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	8
	(4) セグメント情報	8
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向が見られたものの、長引く円高や欧州の債務問題に加え、電力供給への不安や消費増税への動き等、景気の下振れ要因への懸念もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

美容業界におきましては、美容室顧客の来店サイクルの長期化や来店客数の減少、客単価の下落等、依然、美容室経営にとって厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレットリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、主力となるトイレットリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

一方、原価につきましては、「コタ株式会社 京都工場」に関する減価償却費が発生していることから、前年同四半期を上回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費に加え、新製品の発売に伴う販売促進費の増加等により、原価と同様に前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,019百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は66百万円（前年同四半期比10.3%減）、経常利益は69百万円（前年同四半期比3.1%増）、四半期純利益は38百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、以下のとおりであります。

① トイレットリー

トイレットリー（シャンプー、トリートメント）は当社の主軸となる製品群であります。

当第1四半期累計期間におきましては、美容室の来店客に対するカウンセリングとトイレットリーを中心とした店販の推進を美容室に提案してまいりました。さらに、平成24年2月に発売いたしましたトイレットリーの新製品「コタ アイケア」の販売も好調に推移し、当第1四半期累計期間の売上高は605百万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益（売上総利益）は434百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

② 整髪料

ヘアスタイルのベースである毛髪の補修及び保護効果のある洗い流さないタイプのトリートメントの需要は引き続き堅調です。また、平成24年6月にスーパーハードをコンセプトとした整髪料の新製品「コタスタイリング SH」を発売いたしました。当第1四半期累計期間の売上高は199百万円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント利益（売上総利益）は156百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

③ カラー剤

白髪を染めるグレイカラーと若年層中心のファッションカラーを含め、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。主力の「グラフィカ」におきまして引き続き販促ツールを利用した販売を推進し、当第1四半期累計期間の売上高は105百万円（前年同四半期比4.8%増）、セグメント利益（売上総利益）は78百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

④ 育毛剤

一般市場品との競合が激しいセグメントとなっており、業務用品市場は拡大している状況ではありませんが、美容室でのヘッドスパやスキャルプケアメニューに対する消費者の関心が高くなっております。

当社では、主力の「コタ セラ」シリーズを中心に、頭皮の洗浄や育毛効果のあるヘッドスパメニュー等の導入提案を引き続き推進し、当第1四半期累計期間の売上高は44百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント利益（売上総利益）は36百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

⑤ パーマ剤

ヘアスタイルのトレンドがパーマに回帰する傾向は見受けられず、パーマ市場は引き続き減少傾向にあると推測されます。

当社では、「シンクス」シリーズを中心に美容室に対してパーマメニューの提案や、カウンセリングを通じたパーマスタイル提案の推進を積極的に行ってまいりましたが、当第1四半期累計期間の売上高は28百万円（前年同四半期比18.1%減）、セグメント利益（売上総利益）は20百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

⑥ その他

美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を計上しております。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は36百万円（前年同四半期比23.4%減）、セグメント利益（売上総利益）は16百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期会計期間の総資産は、前事業年度から576百万円減少し、6,761百万円となりました。

主な要因としては、たな卸資産が253百万円増加し、売掛金が392百万円、有価証券が289百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間の負債は、前事業年度から454百万円減少し、1,528百万円となりました。

主な要因としては、未払金が242百万円、未払法人税等が281百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間の純資産は、前事業年度から122百万円減少し、5,233百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が119百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、77.4%（前事業年度73.0%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、特に、関西エリアでは電力供給への不安等もあり、先行きは不透明な状況が続くと推測されます。また、計画停電が実施された場合、営業時間の制限や来店客数の減少等、美容室経営に直接影響する事態を招き、第2四半期以降の当社の業績に影響を及ぼすことも考えられますが、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2 サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ366千円増加しております。

3 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,996	58,290
受取手形	45,071	47,136
売掛金	1,062,809	670,495
有価証券	1,617,054	1,327,279
商品及び製品	333,127	532,783
仕掛品	11,300	23,594
原材料及び貯蔵品	166,230	208,190
その他	183,905	93,342
流動資産合計	3,472,495	2,961,112
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,552,569	1,518,405
土地	1,158,906	1,158,906
その他（純額）	629,300	617,683
有形固定資産合計	3,340,776	3,294,995
無形固定資産	110,707	101,591
投資その他の資産	414,187	403,500
固定資産合計	3,865,670	3,800,088
資産合計	7,338,166	6,761,200
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,672	140,996
未払金	940,379	698,184
未払法人税等	285,900	4,076
賞与引当金	160,733	71,289
役員賞与引当金	—	5,025
販売奨励引当金	8,019	46,538
その他	93,086	135,784
流動負債合計	1,565,790	1,101,893
固定負債		
退職給付引当金	18,041	16,769
役員退職慰労引当金	293,500	304,043
長期預り保証金	105,655	105,430
固定負債合計	417,196	426,243
負債合計	1,982,987	1,528,136

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,800	330,800
利益剰余金	4,635,776	4,516,641
自己株式	△1,537	△1,618
株主資本合計	5,352,839	5,233,622
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,339	△558
評価・換算差額等合計	2,339	△558
純資産合計	5,355,178	5,233,063
負債純資産合計	7,338,166	6,761,200

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	950,355	1,019,433
売上原価	240,706	278,219
売上総利益	709,648	741,213
販売費及び一般管理費	635,990	675,125
営業利益	73,657	66,088
営業外収益		
受取利息	1,093	368
受取配当金	1,261	2,407
受取賃貸料	1,218	1,327
その他	1,009	4,167
営業外収益合計	4,584	8,271
営業外費用		
投資有価証券売却損	1,369	2,420
たな卸資産廃棄損	2,972	211
賃貸費用	2,745	911
その他	3,350	917
営業外費用合計	10,437	4,460
経常利益	67,803	69,898
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,188	—
特別利益合計	2,188	—
特別損失		
その他	398	—
特別損失合計	398	—
税引前四半期純利益	69,593	69,898
法人税、住民税及び事業税	965	930
法人税等調整額	30,371	30,745
法人税等合計	31,336	31,676
四半期純利益	38,257	38,222

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレタリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	521,240	201,584	100,302	44,102	34,892	902,123	48,232	950,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	521,240	201,584	100,302	44,102	34,892	902,123	48,232	950,355
セグメント利益	395,555	160,817	73,092	35,433	24,150	689,048	20,599	709,648

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室等の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	689,048
「その他」の区分の利益	20,599
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△635,990
四半期損益計算書の営業利益	73,657

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレタリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	605,159	199,581	105,077	44,104	28,574	982,496	36,936	1,019,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	605,159	199,581	105,077	44,104	28,574	982,496	36,936	1,019,433
セグメント利益	434,077	156,315	78,002	36,525	20,091	725,012	16,201	741,213

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	725,012
「その他」の区分の利益	16,201
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△675,125
四半期損益計算書の営業利益	66,088

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の「トイレタリー」のセグメント利益が48千円、「整髪料」のセグメント利益が16千円、「カラー剤」のセグメント利益が8千円、「育毛剤」のセグメント利益が3千円、「パーマ剤」のセグメント利益が2千円それぞれ増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。